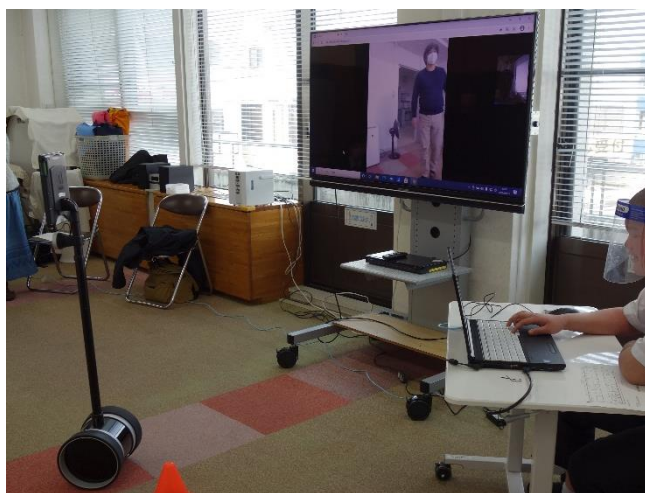


テレプレゼンスロボットを使った授業

このロボットを使うと、どんな未来がみえるのだろうか？

中学部の社会科では地域の歴史の調べ学習の内容について、福島県立博物館（以下、博物館）の協力もと、「テレプレゼンスロボット」を使った授業実践に向けて準備を行っています。「テレプレゼンスロボット」は自走式遠隔ロボットです。パソコンの矢印キーやゲーム機用のコントローラーで前後への移動と左右の転回を遠隔操作することが可能です。さらに、同時動画配信ができ、ロボットが移動し見聞きしている映像と音をそのままパソコンの画面で視聴し、画面越しに会話することもできます。このシステムを利用し、博物館と教室を結び社会科の遠隔教育の授業を実践しようと考えています。

令和3年1月15日（金）には、その準備として校内で生徒が実際に「テレプレゼンスロボット」を使い、その操作性と映像と音を体験しました。



竹田校では、児童生徒一人一人の確か将来へつなげる豊かな学びとなるよう、多くの皆様からご支援とご協力をいただき、教員一人一人がアイデアを出しながら良い授業実践を積み重ねていきます。今後も竹田校をよろしく願います。